

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-144058

(43)Date of publication of application : 19.06.1991

(51)Int.CI.

E04F 15/024

E04F 15/10

(21)Application number : 01-282181

(71)Applicant : SEKISUI CHEM CO LTD

(22)Date of filing : 30.10.1989

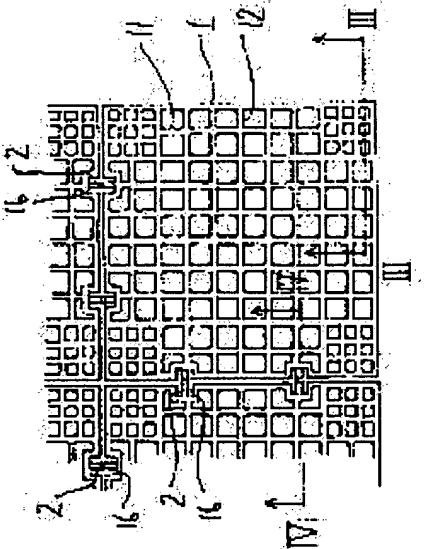
(72)Inventor : TAKAHASHI HISAO
SHIRAKAWA TOSHIAKI
ICHIKI TADAHIKO

(54) FLOOR MATERIAL MADE OF SYNTHETIC RESIN

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve drape with a concrete floor slab and to improve workability during a laying work by a method wherein a plurality of small plates made of synthetic resin are arranged without a gap therebetween, and are intercoupled through respective thin coupling pieces.

CONSTITUTION: A plurality of small plates 1 made of polyethylene, polypropylene, or polyvinyl chloride synthetic resin and formed in a square, a rectangle, a triangle, or hexagon are arranged almost without a gap therebetween. The small plates 2 are intercoupled through thin coupling pieces 2.... The small plates 1 coupled to each other are laid on a concrete floor slab at a stroke.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application converted
registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of
rejection]

BEST AVAILABLE COPY

⑫ 公開特許公報 (A)

平3-144058

⑬ Int. Cl. 5

E 04 F 15/024
15/10

識別記号

104

庁内整理番号

B 7805-2E
7805-2E

⑭ 公開 平成3年(1991)6月19日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 合成樹脂製床材

⑯ 特願 平1-282181

⑯ 出願 平1(1989)10月30日

⑰ 発明者 高橋 久男 大阪府守口市外島町6番地

⑰ 発明者 白川 敏昭 京都府宇治市菟道荒33番地の2

⑰ 発明者 一木 忠彦 兵庫県川西市水明台4丁目5番14号

⑰ 出願人 積水化学工業株式会社 大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

明細書

発明の名称

合成樹脂製床材

特許請求の範囲

1. 複数個の小板材から構成され、各小板材が薄肉の連結片により相互に連結されていることを特徴とする合成樹脂製床材。

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、所謂コンピューター室等の揚床構造であるフリー アクセス床等に使用して好適な合成樹脂製床材に関する。

〔従来の技術及び課題〕

従来、所謂コンピューター室等の揚床構造であるフリー アクセス床等に使用される合成樹脂製床材としては、比較的小型のもの、例えば、20cm角のものであって、使用に当たっては、これをコンクリート床スラブの上に一々並べていた。

しかしながら、このように例えば20cm角の比較的小型のものを床スラブの上に一々並べる作業

は大変であり、作業性の点で問題であった。

そこで、近時、例えば、60cm角のカーペットの下面に複数枚の比較的小型の床材を並べたものを纏めて接着し、これをコンクリート床スラブの上に敷設し、作業の手間を軽減することが行われている。

しかしながら、このように予めカーペットの下面に複数枚の床材を纏めて接着したものでは、全体の長さの寸法を調節することができないし、ユーザーがカーペットとは異なる物、例えば、プラスティックシートを望む場合もあり、そのような場合には、プラスティックシートに複数枚の床材を纏めて接着したものも予め準備しておく必要があり、ユーザーの要望に備えて種々のものを予め準備しておく必要があり、経済性の点で問題であった。

本発明は、従来の合成樹脂製床材におけるこのような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、上記の課題を解決し、作業性がよく、複数枚の床パネルの全体の長さの寸法

が調節できるようにした合成樹脂製床材を提供するにある。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、本発明合成樹脂製床材は複数個の小板材から構成され、各小板材が薄肉の連結片により相互に連結されていることを特徴とするものである。

本発明において、合成樹脂としては、ポリエチレン、ポリプロピレン、塩化ビニル樹脂等が使用できる。

本発明において、小板材の形状としては正方形、矩形等の方形の他に三角形や六角形等のように相互間に殆ど隙間なく並べることのできるものが使用できる。

〔作用〕

本発明においては、複数個の小板材から構成され、各小板材が薄肉の連結片により相互に連結されているので、コンクリート床スラブ等の上に敷設したときは、各小板材がコンクリート床スラブ等の凹凸面によく馴染み、各小板材が薄肉の連結

ミリである。14は小板材1の中央部に設けられた天板部であり、天板部14の上に接着剤を溜めることのできる凹所15が設けられ、凹所15に接着剤を溜めて、その上にカーペット等を接着できるようになっている。

2は各小板材1、1、…の側面に設けられた凹欠部16の奥面同志を連結する薄肉の可撓性に富む彎曲された連結片であり、9枚の小板材1、1、…が連結片2、2、…により連結されて本発明床材が構成されている。

尚、3は電線取り出し用の孔である。

各小板材1、1、…及び連結片2はポリプロピレンを使用して射出成形法により一体に成形されている。

以上のような本発明床材をコンクリートスラブ上に設置するときは、コンクリートスラブ上に発泡シートを敷き、その上に直接或いは支柱を介して本発明床材を載せ、各小板材1、1、…の間の間隙の大きさを調節して全体の長さを調節し、凹所15に接着剤を塗布し、その上に図示しない

片により連結されているので、連結片により連結された各小板材を一挙にコンクリート床スラブ等の上に敷設することができ、各小板材を一々並べる必要がなく、各小板材間間隙の大きさを調節して全体の寸法を調節することもできる。

〔実施例〕

以下、本発明の実施例を図面を参照して説明する。

第1図は本発明合成樹脂製床材の一例を示す斜視図、第2図は同上の一部切欠拡大平面図、第3図は第2図においてⅢ-Ⅲ線における断面図、第4図は第2図においてⅣ-Ⅳ線における拡大断面図である。

これらの図において、1、1、…は上方から見て一辺の長さが165ミリの略正方形の小板材であり、各小板材1、1、…は縦片11、11、…及び横片12、12、…により構成される格子状構造である。13、13、…は小板材1の四隅部下方に突設された脚部であり、小板材1の上端から脚部13の下端までの高さは50

ミリである。14は小板材1の中央部に設けられた天板部であり、天板部14の上に接着剤を溜めることのできる凹所15が設けられ、凹所15に接着剤を溜めて、その上にカーペット等を接着できるようになっている。

〔効果〕

本発明においては、複数個の小板材から構成されているので、コンクリート床スラブ等の上に敷設したときは、各小板材がコンクリート床スラブ等の凹凸面によく馴染み、又、各小板材が薄肉の連結片により連結されているので、各小板材を一々並べる必要がなく、敷設施工時の作業性に優れており、各小板材間間隙の大きさを調節して全体の寸法を調節することもできる。

又、本発明においては、従来の床材のように、カーペット等に予め接着しておく必要ないので、ユーザーの要望に併せて種々のものを用意しておらず不経済もない。

図面の簡単な説明

第1図は本発明合成樹脂製床材の一例を示す斜視図、第2図は同上の一部切欠拡大平面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線における断面図、第4図は第2図のⅣ-Ⅳ線における拡大断面図である。

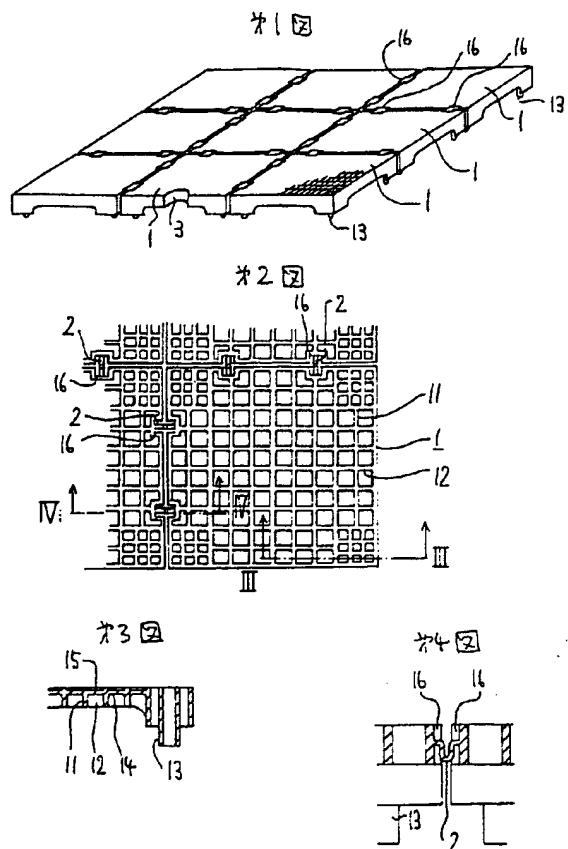
1 : 小板材

2 : 連結片

出願人

積水化学工業株式会社

代表者 廣 田 騰



BEST AVAILABLE COPY